

H11-1-2 IP通信用接続ATMインタフェース

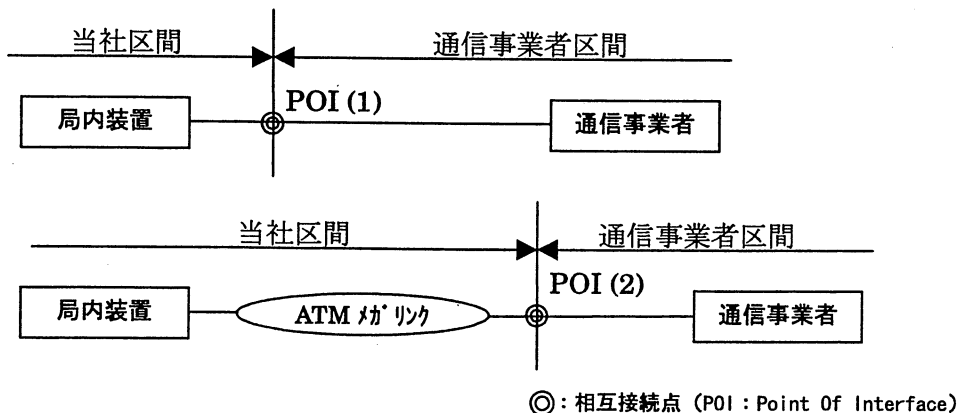
【本資料活用上の留意点】

1. 本資料では、NTT網との接続に関するインタフェース条件について、概略を記述しています。
2. 今回開示するインタフェースの詳細については、調査用資料を発行いたします。入手方法等については、NTT情報ステーションにて（フリーダイヤル 0120-188220）掲示、ご案内しております。

1. 概要

本インタフェースは、NTTのIP通信用端末回線と接続するためのATMインタフェースです。

<接続イメージ>



2. インタフェース条件

2. 1 POI (1)におけるインタフェース条件

2. 1. 1 物理的条件

(1) 光ファイバケーブル

光ファイバケーブルは、ITU-T勧告G. 651準拠のG1型光ファイバケーブル (50/125 μ m)、またはITU-T勧告G. 652準拠のSM型光ファイバケーブルを適用します。

(2) コネクタ

コネクタは、JIS規格C5793準拠のSC-PS形接続プラグを使用します。

2. 1. 2 光学的条件

本インタフェースにおける光学的条件は、TTC標準JT-G957「適用伝送路コード1-1」およびATM-Forum (Physical Layer Interface Specification) UNI3.1に準拠します。

2. 1. 3 論理的条件

(1) フレーム構成

フレーム構成は、TTC標準JT-G707に準拠したSTM-1 (156Mbit/s)の規定を適用します。

なお、STM-1にマッピングされるパスはVC-4のみです。

(2) ATMセルのマッピング

ATMセルのVC-4へのマッピングは、TTC標準JT-I432.2に準拠します。

2. 1. 4 ATMレイヤ

(1) ATM機能特性

ATM機能特性は、TTC標準JT-I150に準拠します。

(2) ATMレイヤ物理条件

ATMレイヤ物理条件は、TTC標準JT-I432.1に準拠します。

(3) ATMレイヤ論理条件

ATMレイヤ論理条件は、TTC標準JT-I361に準拠します。

(4) OAM原則と機能

提供するエンド・エンドF4フロー(VPLレベル)OAM (Operation Administration And Maintenance) は、TTC標準JT-I610に準拠します。

(5) トラヒック条件

トラヒックの具体的条件については、接続事業者との間で協議することとし、本資料では規定していません。

2. 1. 5 上位レイヤ仕様 (IP over ATM仕様)

IPパケットのAAL5 (ATM Adaptation Layer 5)へのマッピングはIETF (Internet Engineering Task Force) RFC 1483 (Multiprotocol Encapsulation over ATM Adaptation Layer 5)に従い、LLCカプセル化により行います。

また、AAL5はTTC標準JT-1363.5に準拠します。

2. 2 POI(2)におけるインタフェース条件

ATMレイヤ以下の各条件は、ATMメガリンクサービスのATMレイヤ以下の各条件と同様である(技術参考資料「ATM専用サービスの技術参考資料【第2版 平成11年1月22日発行】」および接続約款の技術的条件集 別表11.4「専用回線/ド装置インタフェース仕様(ATM形加入者線終端装置)【平成11年2月4日制定】」を参照)。

上位レイヤ仕様(IP over ATM仕様)は、POI(1)における上位レイヤ仕様(IP over ATM仕様)と同一である。